



## 緑の募金事業候補応募書

令和 3年 12月 14日

公益社団法人 国土緑化推進機構  
理事長 濱田 純一 殿

応募者の名称等

〒 220-0004

横浜市西区北幸1丁目11-1水信ビル7階

住 所

法人・団体の名称 一般社団法人Silva

代表者氏名 川下 都志子

TEL 045 ( 877)0878

下記の活動を行いたく、「緑の募金」の「SDGs貢献使途限定募金」による支援を希望しますので、事業候補に応募いたします。

### 記

#### 1. テーマ (募集規則に定められたテーマのうち特に該当するもの1つを記載)

(2) 気候変動対策への貢献 (SDGs 目標 7、13 貢献)

#### 2. 事業名 (簡潔に記載。20字以内)

災害に強いめぐりの森づくりを次世代へ繋ぐ

#### 3. 事業目的 (この事業を行うことで解決したい課題等を具体的かつ簡潔に記載。60字以内)

気候変動への緩和策となる土地本来の森の再生活動を持続可能な取り組みにする為、次世代へ現場体験を伴う環境教育も実現する。

#### 4. 事業内容 (募金者の作業参加を含め、何をどれだけ実施するのか等、簡潔に記載。

複数年の事業の場合、全体計画の位置づけも明示し、別途全体計画のわかる資料を添付)

湘南国際村めぐりの森での森林再生事業は、官民の協働参加型として、神奈川県のコア事業の位置付けで推進しております。当該地は、バブル期に開発された跡地の為、失われた森林の復旧と災害を予防する海岸防災林づくりを基軸に2009年より13年、21回植樹事業を実施し約67,291本植樹、約2haを緑化して参りました。

助成申請いたしますのは、そうした森林再生事業とそれに伴い発生する森の再生作業を実働型で次世代育成事業費用となります。

今回の交付金申請により、予算を獲得した際には、以下を目標とします。

①年間約4,000本の植樹と1ha弱の緑化 ②年間のべ200名以上の現場体験の提供 ③年間10名以上の森林再生指導員研修 ④年間1,000名以上の座学による環境教育の実施

(注) SDGsへの貢献について、別添に記載してください。

## 5. 事業場所（位置図を別途添付）

（都道府県・市町村・地番）神奈川県横須賀市湘南国際村めぐりの森  
（所有者）神奈川県

全体面積	112	ヘクタール
実作業面積	0.1	ヘクタール

## 6. 現地の状況（別途説明付きの写真、地図・図面等を添付。必要に応じて参考資料を添付）

湘南国際村めぐりの森では、開発跡地に森を再生する為、緑化推進されておりましたが、緑化対象地の景観を一度更地に整地するリセット式の施工が王道となっており、生態系の攪乱と共に事業コストが嵩む運営ストレスと同時に地元民には反感を抱かれておりました。

当法人は、2015年より景観を損なわず、低コストで緑化する手法を実験・研究しまして、2017年より、同地に於いて官民連携の協働参加型事業の運営を担い、混植・密植方式植樹推進グループのグループ長及び同グループとの連名主催者の立場で全体をコンサルティングし植樹事業を実施しております。

2017年より「緑の募金事業」の国民参加による災害に強い森づくりの助成を賜り、緑化事業を推進。お陰さまで4,974㎡の緑化と21,491本の植樹に繋がりました。

施工方法の見直しによる5年間の削減額は、従前の施工方法と比較しますと累計約1,500万円となっております。

こうした植樹事業過程では、講座やイベントを開催。1年中活動を通じて、広く森林教育を行い、森づくりへの理解と認知度向上の努力をします。植樹祭等では、行政や環境省の後援を得て、地元自治会・教育機関・法人・NPO団体・福祉施設等の参加者が森の再生作業で交流する場を提供すると同時に当法人の教育システムである認定制度を受講し、合格した森林再生指導員がリーダーとして公に活躍する場となります。

上記の次世代教育システム「森林再生指導員認定制度」は、受講料無料の学生優遇もあり、2017年4月から開始し、昨年までに学生13名・社会人16名の計29名が合格し、リーダーとして活躍しております。研修日数は1名に対し、研修3日間・試験・認定1日間の計4日間となります。

また、こうした現場を基軸とする環境教育とは、別に法人や団体・教育機関への講座や講演会を年間6回程度開催しております。

## 7. 事業実施希望期間

令和 4年 4月 ～ 令和 5年 3月

## 8. 事業実施スケジュール（特に、募金者の現地での作業参加の機会を明記）

時期	内容
通年	週1～2回風の草刈り・育樹・補植等メンテナンス作業
通年	植樹事業前の半年～1年間 土壌再生施工
通年	植樹前後に植生シナリオ策定に関する各種調査実施
植樹祭年2回	春と秋の二回、定期的に湘南国際村めぐりの森植樹祭を開催

## 9. 事業完了後の取組成果の展開予定

(事業完了後の維持管理(主体、内容、期間等)や成果を踏まえた新たな展開について記載。必要に応じて参考資料を添付)

土地本来の森は、防災機能を備え、且つ気候変動対策となります。現在植樹したエリアの今後15年間で吸収固定される二酸化炭素量は、1,173.5トンと予想しております。反面、森の再生には、植樹後20~30年かかる為、長期に事業を継続する必要があります。申請対象地には、緑化可能エリアが未だ3ha以上あり、本活動を継続する為、申告しました現場と教育の活動を基軸にソーシャルメディアを活用した広報にも注力して参ります。

## 10. 資金計画書

区分		予算額 (千円)	内訳
収入 の 部	緑の募金交付金	2,000	
	自己資金	1,500	会費、寄付
	その他助成金		
	合計	3,500	
支 出 の 部	行動費	500	送迎車燃料費、送迎車高速費、県外受講者宿泊
	環境整備費	720	地拵・整地費等
	資材費	300	苗木調達費(運送費含む)、炭調達費(運送費含む)
	資材等運搬費	20	運搬費
	指導者経費	60	謝金
	事務費	400	人件費、事務用品費、印刷費、通信費
	交付金計	2,000	
	自己資金等計	1,500	
合計	3,500		

(注1) 自己資金等には他団体からのその他助成金を含めてください。

(注2) 募集規則の「交付対象経費」一覧で適切な科目区分をご確認ください。

(注3) 交付金での支援決定の前には、上記一覧の細分毎の額を提出いただきます。

## 11. 応募者の概要

法人・団体の設立年月日	2015年3月21日設立日、社団登記日2017年3月3日
連絡先 電話番号	045-877-0878
FAX番号	045-351-1310
E-mail	info@silva.or.jp
ホームページ	www.silva.or.jp
会員数	63名
活動目的	植生復元と森林教育、啓蒙活動
主な活動内容	森林再生作業、植樹祭企画・運営、各種講座開催
主な活動地域	神奈川県横須賀市湘南国際村めぐりの森
主な森林整備及び緑化推進活動の実績(具体的な数値を記載。「緑の募金事業」によるものは明記。必要に応じて参考資料を添付)	2017年より「緑の募金事業」の国民参加による災害に強い森づくりの助成を賜り、緑化事業を推進。お陰さまで4,974㎡の緑化と21,491本の植樹に繋がりました。

## 実施事業のSDGs（持続可能な開発目標）への貢献について （整理表）

この整理表は、予定される事業のSDGs（持続可能な開発目標）への貢献について確認するものです。

1. SDGsの17の目標のうち、予定事業が、その達成に貢献する目標にチェック「✓」をしてください。（複数チェック可）
2. チェックのある目標について、その達成に貢献する具体的な活動を記入してください。
3. 申請に当たってのテーマ以外も含めて記入ください。

SDGsの目標	チェック	貢献する具体的な活動を記入
1 貧困をなくすこと	<input type="checkbox"/>	
2 飢餓をなくすこと	<input checked="" type="checkbox"/>	土地本来の森の再生が豊かな土壌と良質な水の確保に繋がり、長計で飢餓をなくします
3 健康であること	<input type="checkbox"/>	
4 質の高い教育	<input type="checkbox"/>	
5 ジェンダーの平等	<input checked="" type="checkbox"/>	女性・若人・障がい者に隔たりなく、活躍の機会を提供します。
6 清潔な水と衛生	<input checked="" type="checkbox"/>	土地本来の森の再生が水質浄化と良質な水の確保に繋がります。
7 再生可能エネルギー	<input type="checkbox"/>	
8 適切な良い仕事と経済成長	<input checked="" type="checkbox"/>	障がい者や過疎地域の資材・部材を優先的に活用することにより、福祉的就労環境の向上に繋がります。
9 新しい技術とインフラ	<input type="checkbox"/>	
10 不平等を減らすこと	<input type="checkbox"/>	
11 持続可能なまちと地域社会	<input checked="" type="checkbox"/>	土地本来の森を復元することで里地里山の景観と防災機能により、まちと地域を護り、持続可能な社会の構築に貢献します。
12 責任を持って生産し、消費すること	<input type="checkbox"/>	
13 気候変動への対策	<input checked="" type="checkbox"/>	土地本来の森を復元することで気候変動の直接的な緩和策となります。
14 海のいのちを守ること	<input checked="" type="checkbox"/>	土地本来の森を復元することで川や海の生態系を護ります。
15 陸のいのちを守ること	<input checked="" type="checkbox"/>	土地本来の森を復元することで生物多様性と生物の生息地を護ります。
16 平和で公正な社会	<input type="checkbox"/>	
17 目標のために協力すること	<input checked="" type="checkbox"/>	官・民・市民・福祉一体となり協働参加型で森の復元達成を目指します。

（注）SDGs（持続可能な開発目標）は、貧困や格差、気候変動、海・陸の豊かさなどのさまざまな問題を抜本的に解決することを目指す、世界共通の17の目標です。  
詳しくは、国連広報センターのサイトや国土緑化推進機構のサイトのハンドブック等をご参照ください。

[http://www.unic.or.jp/activities/economic\\_social\\_development/sustainable\\_development/2030agenda/](http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/)

<http://www.green.or.jp/about-us/sdgs/>